

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M3440402		臨床実習 (Clinical Practice)					生命健康科学コース専門分野		対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
選択	12	4	医学部先進医療科学科	前期	他	日本語			複数(共同)							
担当教員	氏名 手嶋 泰之、加藤 優子、文室 知之、八尋 隆明、田仲 和宏 E-mail teshima@oita-u.ac.jp 内線 32701															
授業の概要	実際の臨床の現場にて臨床検査の実践技術を修得する。臨床検査の役割と責任、医療現場で遭遇する臨床倫理問題について理解を深めるとともに、医療を担う一員としてチーム医療に取り組む姿勢を身につける。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 病院, 検査部の組織, 運営が理解できる。																
目標2 臨床における基本的な検査技術を修得できる。																
目標3 医療の中における臨床検査の役割と責任を理解できる。																
目標4 患者に対する責任と自覚を認識する。																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)									2	3	1	2	1	1		
授業の内容																
1 ・臨床実習に出る前に、																
2 学内で生理学的検査、形態学的検査、尿沈渣検査(鏡検法一顕微鏡操作)を含むSP実習、臨床実習前到達度確認試験を実施し、技能習得到達度評価を行う(1単位)。																
3 ・臨床実習は、数人の小グループに分け、本学医学部附属病院に配置され、病院の臨床検査技師より医療現場での実習指導を受ける。																
4 ・実習期間は(月)～(金)、計12週間実施され、3週間は生理学的検査に関する実習(3単位)とする。																
5 ・実習内容は臨床検査全般																
6 (血液検査、生化学・免疫検査、尿一般検査、微生物検査、輸血検査、生理機能検査、病理検査、遺伝子検査)の8部門に亘る。																
7 ・実習日程の詳細は実習指導計画に基づき行われる。																
8 ・実習状況、出欠状況を適宜、担当教員は確認する。																
9 ・臨床実習では以下の項目を実施する。																
10 1)生理学的検査																
11 実技：標準12誘導心電図検査/スパイロメトリー																
12 見学：ホルター心電図検査のための検査器具装着/負荷心電図検査/肺機能検査/脳波検査/超音波検査(心臓・腹部)/ABI検査/消化管内視鏡検査																
13 2)検体検査(血液検査、生化学・免疫検査、尿一般検査、微生物検査、輸血検査、病理検査、遺伝子検査)																
14 実技：血球計数検査/血液塗抹標本作成と鏡検/尿定性検査/血液型検査/細菌培養/Gram染色検査																
15 見学：臓器切り出しと臓器写真撮影/迅速標本作成から報告/																
16 精度管理(免疫学的検査、血液学的検査病理学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査、輸血・移植検査)/																
17 精度管理(免疫学的検査、血液学的検査病理学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査、輸血・移植検査)/																
18 3)その他																
19 見学：検査前の患者への説明/チーム医療(栄養サポート、感染制御、糖尿病療法指導)/検体採取																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
ラーニング	A:知識の定着・確認		A:予習、レポート作成			工		その		・臨床実習の経験から生じた課題に対してレポートを作成し、自身の学びを深める。						
	B:意見の表現・交換		B:実習中に発問			夫		の								
	C:応用志向		:臨床実習			他		の								
	D:知識の活用・創造					の										

授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	各部門での実習内容を把握し、事前学習を行う(45h)										
	事後学修	各部門から与えられた課題をレポートにまとめる(45h)										
	想定時間合計	90										
教科書	臨地実習ノート 第3版(医歯薬出版)、三村邦裕・山藤賢・下村弘治、ISBN978-4-263-22673-5											
参考書	参考書は指定しない。											
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	レポート	50%										
	臨地実習評価表	50%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	教員の実務経験 加藤・文室・八尋(臨床検査技師)											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無												
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	本学医学部附属病院の臨床検査技師											
実務経験を いかした 育内容	病院等において臨床検査技師および知識・技術に関する実務経験を生かし、実際の事例など取り入れながら実習を展開する。											